

第2章 深大寺地区の街なみ整備に関する目標・基本的な方針

1 深大寺地区の街なみ整備に向けた前提となる課題の整理

深大寺地区は、武蔵野の面影を残した緑豊かな自然環境と歴史的資源が共存するとともに、門前には名物の深大寺そば店が建ち並ぶなど、都内でも貴重な観光資源であり、調布市の中心的な観光地となっています。また、路地を一步入ると、閑静な住宅地や農地も見られ、市民の多様な生活を支える場でもあります。

上位関連計画においても、調布市都市計画マスタープランでは、神代植物公園を含め深大寺地区を「水と緑の拠点」として位置付け、歴史的景観を保全しつつ、良好な街なみの形成に努めるとしています。また、調布市北部地域別街づくり方針では、深大寺周辺を「みどりと歴史ゾーン」の核の一つである「歴史・観光の拠点」として、観光関連産業の保護育成を図り、活気のある歴史・文化のシンボル拠点として位置付けています。

このように、深大寺地区は、水と緑の拠点、歴史・観光の拠点、生活・居住の拠点という様々な側面を持った地区となっています。こうした多くの側面を持つ地区であるため、そのバランスを保ちながら、それぞれの魅力を活かすための街なみ整備を進めていくことが重要となります。

深大寺地区の街なみ整備に関する目標を設定するにあたり、上位関連計画での位置付けや地区の現状の整理から、地区の課題を以下の点に絞り、整理します。

(1) 貴重な自然環境と風情ある街なみの保全・形成

ア 国分寺崖線の水と緑の保全

深大寺地区の豊かな自然環境は、深大寺周辺の雑木林や国分寺崖線の緑により連続した自然環境を形成しており、また、青渭神社や深大寺城跡などの文化財と一体となった緑が多く分布しています。これらの緑は、都市計画神代公園区域としての指定や森林法第25条に基づく保安林の指定などの規制により、これまで一定水準の緑が保たれてきました。また一方で、深大寺地区の緑は民地の割合も多いことから、土地利用の転換や老樹の増加などにより、緑の質や量の低下が懸念されています。

武蔵野の面影を後世に残していくため、国分寺崖線と一体となった風景を守り育てていく必要があります。

イ 歴史的・文化的な風情を感じさせる街なみ景観の保全と形成

深大寺通りやそば店などが軒を連ねる深大寺山門前に続く通りなどは、深大寺や青渭神社、深大寺城跡などと合わせて、地区の歴史や文化を感じ取れる風情ある街なみ景観が形成されています。こうした地区固有の風情、情緒、たたずまいを醸し出す深大寺周辺の街なみ景観の維持・向上を図り、保全・形成していくことが重要となります。

ウ 良好な住環境の維持・誘導

深大寺地区は、第一種低層住居専用地域としての指定や都市計画神代公園区域としての指定により、国分寺崖線の緑などの自然環境と調和した住環境が形成されています。

既存の住宅地においては、現在の自然環境と調和した良好な住環境を保全しつつ、建築物の用途の混在や密集を防ぎ、住民生活を重視した安全で安心なゆとりある住宅地を形成するため、宅地開発等に際しては、地区の緑を守りつつ、戸建ての低層住宅を中心とした土地利用の維持・誘導を図る必要があります。

(2) 地区の魅力を高め、人が集える賑わいの創出

ア 中心市街地の整備と連携した観光・商業の活性化

調布駅・布田駅・国領駅を中心とした中心市街地においては、京王線連続立体交差事業と連動し、調布駅北第1地区市街地再開発事業、調布駅南口東地区市街地再開発事業、布田駅南土地区画整理事業、各種都市計画道路整備事業等の整備事業が推進されています。

深大寺地区における国分寺崖線等の自然環境や歴史的・文化的風情を感じさせる街なみ景観等の地域資源を保全・活用した街づくりの推進にあたっては、地区と中心市街地を結ぶネットワークの形成など、中心市街地の整備と連携し、深大寺地区の賑わいの創出をあわせて考えていくことが必要となります。

イ 地区内の回遊路の確保

深大寺地区には深大寺をはじめとし、深大寺水車館や深大寺城跡などの観光資源が多数存在するものの、適切な案内・誘導が図られておらず、これらの観光資源を十分に活用できていないのが現状です。また、地区は高低差がある国分寺崖線上にあるため、階段等において歩道が歩きにくい箇所や手すりが必要な箇所も存在しています。

地区の自然景観や街なみ景観を回遊して楽しめるようにするため、地区に相応しい案内板・誘導サイン等を設置するとともに、安全に歩行できる環境を整え、回遊性を持たせていく必要があります。

ウ 商業・観光関連施設と居住環境の共存・調和

そば店などが軒を連ねる深大寺山門前に続く通りなどは、深大寺や青渭神社、深大寺城跡などと合わせて、地域の歴史や文化を感じ取れる風情ある街なみ景観が形成されています。また、深大寺通り沿道では、国分寺崖線等の武蔵野の面影を残す自然環境と調和した低層住宅地が形成されています。

深大寺周辺の観光関連産業の保護・育成を図るとともに、歴史的・文化的な風情を感じさせる街なみ景観や国分寺崖線等の武蔵野の面影を残す自然環境に調和した低層住宅地の適切な維持・誘導を図り、地区全体の魅力を高めていく必要があります。

2 深大寺地区の街なみ整備の目標

上位関連計画での位置付け、地区が抱える課題や地域住民等のニーズ、これまでの検討経緯等を踏まえ、街なみ景観を柱としながら、自然環境、交通、観光といった複数の視点からも課題の改善につなげていくため、地区の街なみ整備の目標を以下のとおり設定します。

「武蔵野の自然と歴史・文化を継承する街なみ景観づくり」

①水と緑と歴史が身近に感じられる環境の実現

深大寺地区の最大の魅力である水と緑の保全・改善及び歴史的資源を活かした環境づくり

②安全安心に深大寺地区を回遊できる環境の実現

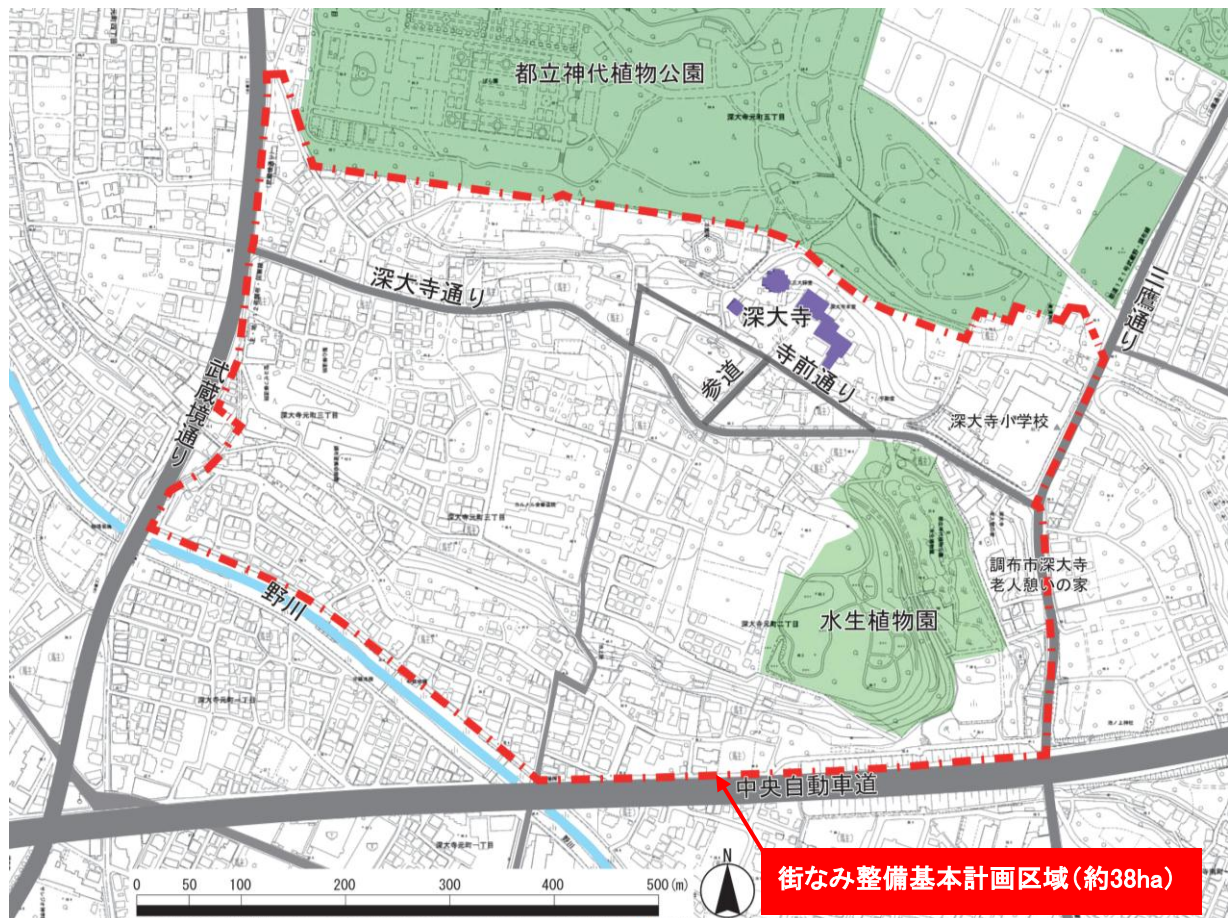
歩行者の安全安心に配慮した楽しく歩いて巡れる歩行環境づくり

③自然環境と調和した趣ある街なみ景観の維持継承

豊かな水と緑と調和した歴史的風情のある街なみ景観の維持継承と来街者をもてなす環境づくり

3 計画対象区域の設定

本計画の対象区域として、東は三鷹通り、西は武蔵境通り、南は中央自動車道と野川との境界部、北は都立神代植物公園との境界部に囲まれた下図の約38haの区域を設定します。



4 深大寺地区街なみ整備基本方針（街なみ環境整備方針）

上記で掲げた目標の実現に向けて、以下の方針に基づき各種事業を進めていくこととします。

「武蔵野の自然と歴史・文化を継承する街なみ景観づくり」

- ①水と緑と歴史が身近に感じられる環境の実現
深大寺地区の最大の魅力である水と緑の保全・改善及び歴史的資源を活かした環境づくり
- ②安全安心に深大寺地区を回遊できる環境の実現
歩行者の安全安心に配慮した楽しく歩いて巡れる歩行環境づくり
- ③自然環境と調和した趣ある街なみ景観の維持継承
豊かな水と緑と調和した歴史的風情のある街なみ景観の維持継承と来街者をもてなす環境づくり

●道路や広場等公共施設に関する整備方針

- ・深大寺通りや寺前通り・参道を中心に、居住者や来街者の安全安心に配慮しながら、周囲の自然環境や寺前の雰囲気を活かした、良好な歩行空間整備を行う。
- ・地区内に、居住者や来街者が豊かな自然環境を感じつつ、気軽に語らい、休憩できる空間の形成を行う。



寺前通りの美化イメージ図

【事業計画】

- 広場整備（タクシー待機所）
- 道路の美化・改良（深大寺通り、寺前通り、参道）
- 遊歩道・散策路整備
- 案内板等サイン整備
- 電線類改善整備



深大寺通りの美化イメージ図



深大寺通りの美化（交差点部）のイメージ図

●住宅・店舗等建築物及びその敷地に関する整備方針

- ・住宅・店舗等建築物等は、深大寺地区の趣のある雰囲気と自然環境に調和した、落ち着いた形態及び意匠を誘導する。
- ・来街者や歩行者が多いことに対し、特に道路沿いは、周辺の街なみ景観や自然環境と調和した、おもてなしの空間づくりや植栽を誘導する。

【事業計画】

- 住宅・店舗等の修景整備助成



●水と緑に関する保全・整備方針

- ・武蔵野の原風景を形成する樹木や湧水等の自然環境の保全を前提とした、樹林地や水路の整備・再生を実施する。
- ・豊かな自然環境は、訪れる人の最大の魅力であることに鑑み、所有者及び地域住民が協働して水と緑の維持管理に努める。

【事業計画・地域活動による取り組み】

- 水路整備
- *街づくり協定に基づく地域主体のまちづくり活動

